

平成 25 年 7 月 1 日

各 位

医療法人社団 聖仁会
理事長 戸谷 完二

認知症講演会のお知らせ

紫陽花の候、みなさまにはいかがお過ごしでしょうか。

平素は、医療法人社団聖仁会に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

先日、厚生労働省から「認知症の人は従来の推計より約 150 万人多い 462 万人で、今後ますます増えていく」と発表がありました。このことから、市民一人一人が自ら予防に努め、又、万が一認知症になっても安心して暮らせる町づくりについて考え、対応していくことが求められます。

さて、平成 14 年より始めました「庄原市委託事業 認知症介護予防講座」は、本年度で 12 年目を迎え、本年度は 7 月と 11 月の 2 回開催する予定です。第 1 回は来る 7 月 27 日 (土) 午後 1 時から庄原市民会館大ホールで開催します。高名な先生をお招きして、開催できることはこの上ない喜びで、皆様にご案内申しあげる次第です。

第 1 部は熊本大学大学院 神経精神科教授 池田 学氏のお話です。池田先生は日本の認知症研究の第一人者で、先生が中心となって作られた熊本県独自の認知症医療対策システムは医療と生活をつなぐ独自のものとして、全国から注目されています。専門的な話から身近な話題まで、分かり易いものとなっています。

第 2 部は池田先生と大起エンゼルヘルプ 和田行男氏と庄原市担当課の対談で、「庄原市のこれから」についてしっかりと語って頂きます。

多くの市民の皆様にご参加いただき、「元気で安心して暮らせる町づくり」を、一緒に考えたいと思います。

聖仁会は、これからも「認知症になっても、障害をもっても、地域住民として安心して暮らせるよう」ご本人・ご家族の支援と町づくりに取り組んで参ります。今後ともご支援、ご鞭撻賜りますようよろしくお願いいたします。

末筆ながら、みなさまの益々のご健勝をお祈り申し上げます。

第12回 認知症介護予防講座

「認知症」の最先端のお話と、認知症になっても安心して暮らせる町や認知症の医療体制づくりの「熊本方式」を学びませんか？

庄原は高齢過疎の町だからこそ、真剣に考えないといけない時が来ました。お話の中から、「認知症になっても安心して暮らし続けられる町・庄原」を共に考え、動きましょう。

第2部はより身近なお話です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

「認知症になっても安心の町を」

第Ⅰ部 講演

「認知症の人と共に暮らす」

熊本大学大学院生命科学研究部

神経精神医学分野：神経精神科 教授 池田 学氏

第Ⅱ部 対談

「庄原市のこれからを考える」

池田 学 氏 (熊本大学大学院 神経精神科教授)

和田 行男 氏 ((株)大起エンゼルヘルプ クオリティマネージャー)

日時：平成25年7月27日(土) 13:00～16:00

場所：庄原市民会館 大ホール

講師略歴

池田 学氏

大阪大学医学部卒業。認知症の疾患別治療法の開発、認知症に関する疫学調査、若年性認知症の実態調査、認知症患者の自動車運転に関する研究など認知症の学術研究と支援に、多岐にわたり取り組み認知症診療ネットワークは熊本モデルとして注目されている。日本老年精神医学会・日本神経心理学会、日本高次脳機能学会、日本神経精神医学会、日本認知症学会、International Psychogeriatric Association ほか多数の学会理事。

和田 行男氏

高知県生まれ。1987年、国鉄の電車修理工から福祉の世界へ大転身。特別養護老人ホームなどを経験したのち、平成11年、東京都で初めてとなる「グループホームこもれび」の施設長に。現在は大起エンゼルヘルプでグループホーム・アイサービス・小規模多機能ホームなどを統括。昨年6月NHK「プロフェッショナル」に出演。大ブレイク。

主管：医療法人社団 聖仁会

介護老人保健施設 愛生苑 戸谷医院 さくら診療所 訪問看護ステーションエンゼル
グループホーム「たんぼぼ」、「サフラン」、「ポレロの家」、「なでしこ」
聖仁会居宅介護支援事務所 庄原市老人介護支援センター愛生苑
通所介護「愛生苑」、「ひなぎく」、「花ばたけ」、「りんどう東」

後援：庄原市医師会 庄原市歯科医師会 庄原市民生委員児童委員協議会

庄原市社会福祉協議会 庄原市自治振興区連合協議会 庄原市老人クラブ連合会
庄原市地域女性団体連絡協議会 中国新聞社
庄原市認知症の人を支える家族の会 (順不同)